

## 鉄道博物館 館内施設等概要の決定について

鉄道博物館は、いよいよ10月14日(日)に開館日を迎えます。現在、開館に向けて、地元さいたま市ならびに地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら、順調に準備作業を進めております。

館内施設では、日本最大の「模型鉄道ジオラマ」、本格的な信号保安システムを装備した「ミニ運転列車」、日本初の「SL運転シミュレータ」等の注目施設の準備も整ってまいりましたので、その一部をご紹介します。

また、オープニングを記念した特別企画展やセレモニー等、イベントの概要が決定いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

私たちは、地域の皆様に愛され、世界から注目される、ハード・ソフトとも世界でトップクラスの鉄道博物館を目指して、今後も取り組んでまいります。

### 1. 館内施設について

#### (1) 模型鉄道ジオラマ【資料1-1】

各種の車両が複雑に走行するその動きの爽快さ、楽しさを堪能しながら、様々な鉄道施設と多彩な車両を一望できる約200m<sup>2</sup>を誇る日本最大の模型鉄道ジオラマです。

#### (2) ミニ運転列車【資料1-2】

3人乗りのミニ列車で1周約300mの軌道を運転することにより、鉄道の運行システムの安全性、正確性などを体験的に学ぶことができます。

A T C (自動列車制御装置) や A T S - P (自動列車停止装置) のシステムを体験することができます。

#### (3) D51など5台の運転シミュレータ【資料1-3】

実際のD51形式蒸気機関車の一部を改修し製作した、日本初のSL運転シミュレータでは、パノラマ大画面とともに蒸気機関車特有の振動を動揺装置により再現し、本格的な運転体験ができます。現在特許出願中です。館内にはD51の他に、山手線、新幹線など4台の運転シミュレータを設置しております。

#### (4) 体験型施設【資料1-4】

ラーニングゾーンでは、学校教育の一環として活用いただくことも考慮し、実物の鉄道部品や模型を使用して、鉄道の原理や仕組みについて体験的に学ぶことができます。また、駅や工場などにおける鉄道の仕事についても同様に学ぶことができます。

## 2. 入退館、館内施設等の予約について

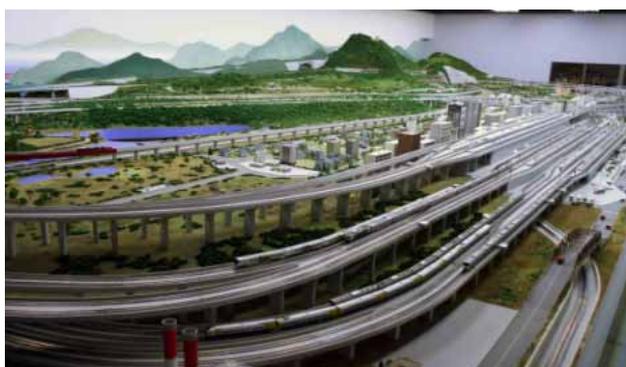
鉄道博物館の入退館や館内施設等の予約には、Suicaシステムを使用いたします。その際、お客さまがお持ちのSuicaをご利用いただけます。Suicaをお持ちでないお客さまには、貸出用ICカードをご用意いたします。

## 3. 開館記念 第1回特別企画展について【資料2】

鉄道博物館の開館を記念した第1回特別企画展を行います。初回は、各地に路線を延ばし、日本経済を支える大動脈に成長した新幹線をクローズアップいたします。

テーマ : 「新幹線の挑戦～より速く、より快適に～」  
開催時期 : 2007年10月14日(日)～2008年2月25日(月)  
開催場所 : 鉄道博物館内 スペシャルギャラリー(2Fコレクションゾーン)  
ご利用料金 : 無料(入館料金のみでご覧いただけます)

## 館内施設のご紹介： 模型鉄道ジオラマ



### 模型鉄道ジオラマ (エントランスゾーン 2F)

#### 【概要】

横幅約25m奥行き約8m、約200㎡の地形模型にHOゲージ(在来線1/80、新幹線1/87)の鉄道模型を敷設したジオラマです。軌道総延長約1,400mのレール上を最大20編成まで車両の走行が可能です。当館の保有車両数は約600両です。鉄道をテーマとしたHOゲージでは日本最大となります。

#### 【特徴】

日本の鉄道の特徴的シーンを再現しています。駅舎、発電所、橋梁、トンネルなど様々な鉄道施設と多彩な車両を一望できる景色となっています。ループ線、スイッチバックなど現在見る機会が少なくなった施設も設置しています。

#### 【観覧プログラム】

15分程度のスタッフが解説しながら運転を行うプログラムを用意しています。照明を調整することで朝、昼、夜間など時間帯ごとの演出を施し、一日の様子をご覧いただけます。

#### 【観覧回数】

1日4～6回程度実施します。プログラムを実施していない時間は自由に観覧いただけます。

#### 【ご利用方法】

館内にある予約機で予約を行います。入館の際使用したSuicaもしくは入館ICカードに予約情報を登録して予約完了となります。

#### 【ご利用料金】 無料

## 館内施設のご紹介：ミニ運転列車



205系武蔵野線とE231系高崎線の車両



253系成田エクスプレス車両



205系埼京線車両



万世橋駅に停車する209系京浜東北線車両



ラーニングゾーン屋上から見たミニ運転列車の軌道



汐留駅に停車するE257系あずさ車両

### ミニ運転列車 (パークゾーン)

#### 【概要】

1周約300mの軌道を、長さ約2.4m、幅約1.2mの3人乗りミニ車両で運転できます。(所要時間約6分)  
運転指令室も隣接して設置しており、モニターを見ながら運行システムを分かりやすく理解することができます。

#### 【車両の種類】

205系埼京線・武蔵野線、209系京浜東北線、E231系高崎線、251系スーパービュー踊り子2両、253系成田エクスプレス2両、E257系あずさ2両の計10両を設置します。車椅子のお客さまにもご利用いただける車両も用意しております。

#### 【設置駅】

出発・到着駅を含め4つの駅を設置し、それぞれ万世橋駅(乗降駅)、汐留駅、飯田町駅、両国橋駅となります。

#### 【ご利用方法】

館内にある予約機で予約を行います。入館の際使用したSuicaもしくは入館ICカードに予約情報を登録して予約完了となります。

【ご利用料金】 1回 200円

## 館内施設の紹介： 運転シミュレータ



D51シミュレータ



D51シミュレータ 運転席



200系新幹線シミュレータ



209系京浜東北線シミュレータ

## シミュレータ施設 (エントランスゾーン 1F)

D51シミュレータ(新設:1台)

## 【概要】

交通博物館に展示されていたD51キャブ部分を使用して製作しました。操作機器(加減弁、逆転機、ブレーキ)に応じた動輪の発生トルクから、車体運動モデルを作成し、力行、惰行、制動の状態をシミュレーションします。シリンダー圧力計、ボイラー圧力計、給水ポンプ圧力計、水面計、ブレーキ圧力計、速度計などが運転に連動して作動する本格的なシミュレータです。動揺装置による、蒸気機関車特有の振動も再現しています。(所要時間約15分)

## 【特徴】

蒸気機関車は機関士と機関助手の二人が、路線条件に合わせて蒸気を作り、蒸気圧を調整して走行します。その蒸気機関車の操作手順をシミュレートして、電車の運転とどのように違うのかを知ることができます。

## 【ご利用方法】

館内にある予約機で予約を行います。入館の際使用したSuicaもしくは入館ICカードに予約情報を登録して予約完了となります。

【ご利用料金】 1回 500円

その他シミュレータ(移設:4台)

## 【概要】

交通博物館でも高い人気を誇った施設です。新幹線(200系)、山手線(205系)、京浜東北線(209系)、東海道線(211系)の運転シミュレータです。

## 【特徴】

交通博物館のシミュレータを改修して移設しました。特に山手線(205系)は動揺装置を新たに設置して、運転動作に連動した揺れを再現しています。

【ご利用方法】 予約不要

【ご利用料金】 無料

館内施設のご紹介：体験型施設



車両工場ラボ



デザインラボ



駅構内ラボ



原理・仕組み展示

体験型施設（ラーニングゾーン1～3F）

ラーニングゾーンは、学校教育の一環として活用していただくことも考慮した設計となっております。1Fはラボラトリー展示、2Fと3Fは原理・仕組み展示を行います。

ラボラトリー展示

【概要】

駅構内、車両工場、デザイン、3つのラボラトリーで鉄道を支える人々の仕事を疑似体験できるワークショップ型の展示です。

「車両工場ラボ」では、1/4サイズの模型台車とクレーンを使用して、台車の分解や組立てなどを体験いただけます。

「デザインラボ」では、パソコンを使用して、車両のデザインなどを体験いただけます。

「駅構内ラボ」では、実物の自動改札機や券売機などの機器を使用して駅業務などを体験いただけます。

【ご利用方法】 予約不要

【ご利用料金】 無料

原理・仕組み展示

【概要】

実物の鉄道部品や模型を使用して、鉄道の原理や仕組みについて楽しみながら学べる体験型の展示です。

【ご利用方法】 予約不要

【ご利用料金】 無料

## 開館記念 第1回特別企画展について

鉄道博物館の開館を記念した第1回特別企画展を行います。概要は以下の通りです。

1. テーマ 『新幹線の挑戦～より速く、より快適に～』
2. 開催時期 2007年10月14日(日)～2008年2月25日(月)
3. 開催場所 鉄道博物館内スペシャルギャラリー(2Fコレクションゾーン)
4. ご利用料金 無料(入館料金のみでご覧いただけます)

### 5. 内容

東海道新幹線開業以来 43 年を経て、各地に路線を伸ばし日本経済を支える大動脈に成長した新幹線のあゆみと社会の変化、今後の高速化や新規開業、安全への取り組み等を紹介していきます。

本年 2007 年は山陽新幹線岡山開業から 35 年、東北上越新幹線開業から 25 年、山形新幹線開業から 15 年、秋田・長野新幹線開業から 10 年、東北新幹線八戸開業から 5 年と節目の年になります。

### 6. 主な展示構成

#### 新幹線の歴史

各地に路線を伸ばし現在に至る新幹線のあゆみを紹介

#### 技術開発(より速く、より快適に)

高速での営業運転をめざして現在取り組んでいる様々な技術の改良・開発について、体験的な展示手法を取り入れながら紹介

#### これからの新幹線

今後の開業予定等の概要を紹介し、新型車両なども紹介

#### 海外の高速鉄道

新幹線の成功が波及し、各国で営業を開始した高速鉄道について主要なものを紹介  
体験展示

運転席や駅設備など、実物や模造品を通じて新幹線の魅力を体験するコーナーの設置

#### 映像展示

映像資料を用いてわかりやすく解説するコーナーの設置